

涼風だより

2014年 秋号 Vol.3



デイステーション涼風

〒184-0012 小金井市中町 1-7-34
合同会社セルフクリエイト

Tel : 042-316-4543

HP : <http://sc-suzukaze.com/>

Mail : sc-suzukaze@hb.tp1.jp

<通所介護こそ維持期リハビリテーションを担えるの巻>

通所介護は 1963 年に老人福祉法の中で「老人デイサービス」として開始されたもので、2000 年介護保険下の事業になったものです。一日の長い時間事業所に滞在し、定期的に通所するのを基本的な特徴としており、そこには利用者さんの一日の暮らしが詰まっています。利用者さん個人の状態に合わせて、どのようなプログラムや活動を提供するかで、維持期(回復期も含め)のリハビリテーションを担う最適な事業になるはずですが、残念ながらリハビリ＝運動訓練(機能訓練)という状況が世の中に広まっています。「高齢者フィットネス」「機能訓練特化型」「トレーニングセンター」といった通所介護を多く見かけます。それが高齢者のために有効でないとは思いますが、本来、高齢者を含めた家族の暮らしを支えるために始まった通所介護という仕組みを使いきれていないように思います。涼風は、維持期はもちろん、回復期の利用者さんのリハビリテーションを担うべく様々な工夫をし、全体の仕組みを作っています。春号では全体行事、夏号では午後の様々な活動、本号では午前の基本的な心身機能の訓練の様子をお伝えします。

管理者 石井晴美

<葉山靖明さんがいらっしやいました>

葉山靖明さんをご自分が脳出血を起こし療養した経験をもとに、作業療法(OT)に感動し、福岡県にデイサービス(株式会社ケアプラネット)を設立した、OT関係者の中では有名人。小林 OT の勤務先の目白大学での講義のため上京されたついでに、涼風に寄って下さいました。熱い思いの溢れるお二人とのおしゃべりは尽きることはなく、夜が更けました。

葉山さんは専門学校で会計学の先生をしていた 41 歳の時、脳出血で右片麻痺、失語症という障害を負いました。

そこでリハビリテーション訓練の一つとしての OT に出会い、「これぞ自分の誇りと尊厳を取り戻せる療法」と感じたそうです。その感動を多くの方々に分けたいと思い、発症後わずか 1 年半後に「デイサービスけやき通り」を設立されました。

この切り替えの早さ、フットワークの軽さは誰にも真似のできない、葉山さん独自の人間観に由来するものと思います。



(写真上/小林 OT と葉山さん、写真右/葉山さんと石井)